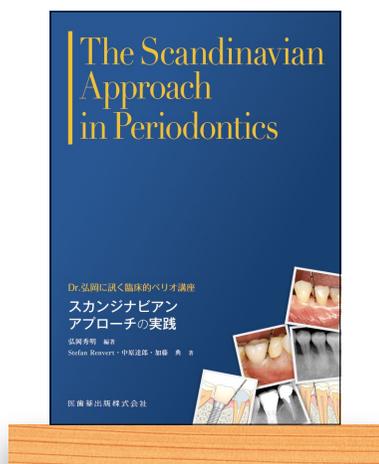


30年にわたるスカンジナビアン ペリオの集大成が一冊に！



Dr. 弘岡に訊く臨床的ペリオ講座

スカンジナビアンアプローチの実践

弘岡秀明 編著 /

Stefan Renvert・中原達郎・加藤 典 著

A4判/416頁

定価 16,500円 (本体 15,000円 + 税 10%)

医歯薬出版 (2021年12月)

福岡市・中央区 北欧歯科
 評・加藤雄大 (歯科医師)



本書を手にとった多くの人が最初に思うことは、“スカンジナビアンアプローチって何だろう？”ということではないでしょうか。歯周治療における「スカンジナビアンアプローチ」とは、北欧で体系化された、歯周病の真の原因であるプラークを除去することで、歯周組織の感染・炎症をコントロールし、歯周組織の改善と安定を目標とする治療法のことです。

この治療法の主軸は、歯肉縁上のプラークコントロールを確立するために患者さんのモチベーションを向上させ、口腔衛生指導を行い、インスツルメントを使って歯肉縁下のプラークコントロールを達成することです。つまり、その主役はそれらを任されている歯科衛生士であり、まさにこのアプローチは“歯周基本治療で

結果を出したい！”という歯科衛生士の皆さんにピッタリなわけです。

本書では、スカンジナビアンアプローチに基づいた歯周基本治療の根拠となるさまざまな論文が、図や実際の臨床例を用いながらわかりやすく解説されています。ある程度歯周治療を経験してきた歯科衛生士であれば、日々行っている治療の背景を知ること、明日からの診療により自信をもって取り組むことができるようになるでしょう。まだ経験の浅い歯科衛生士にはすこしレベルが高い内容かもしれませんが、教科書のように大事に読み進めることで、歯科衛生士として大きく成長できることは間違いありません。臨床でつまずきやすいポイントや指導のポイントは、「ワンポイントアドバイス」「クリニカルアドバイス」として各項目の末尾に掲載しており、こちらは経験の有無を問わず、皆さん“目からウロコ”の内容だと思います。

歯周治療に関連する書籍のなかには、歯周外科治療に重点をおいた歯科医師向けの書籍であったり、逆に非外科治療に重点をおいた歯科衛生士向けの書籍であったりと、記載内容に偏りがあることがあります。しかし、実際の臨床では、歯科医師と歯科衛生士が治療方針と治療計画を共有し、協力しながら治療を行っていく必要があります。本書のように「スカンジナビアンアプローチ」という一貫したコンセプトのもと、包括的に歯周治療全体を描いている書籍はなかなかありません。

本書の強みをさらに活かすには、個人のレベルアップのためはもちろん、チームのレベルアップのために同僚の歯科医師や歯科衛生士とともに読むことをお勧めします。多くの患者さんが抱える歯周病の治癒とその後の歯周組織の安定のために、患者さんに寄り添った信頼ある治療方法を学びたい方、そしてそれをチームで実践したい方に読んでいただきたい一冊です。